

# 令和6年度 施政方針

## 阿蘇市の 「こんなことします」 することリスト

2月22日の第2回市議会定例会で佐藤市長が報告した施政方針の内容をまとめました。全文はホームページで見ることができます。



### 行政サービスの向上と効率的な行政運営

### 行政サービスの向上と効率的な行政運営

#### 複雑・多様化する行政課題に対応するため、職員の人材育成・確保に注力します。

個人情報、内閣府が所管する「個人情報保護委員会」の監視下で厳格な保護・活用に努めます。

市公式LINEの運用を4月から開始し、ニーズに合わせた行政情報の発信と行政手続の利便性向上を図ります。

(総務課)



### 安全な地域や暮らしをつなぐ

#### 阿

蘇中岳第一火口は、1月23日に噴火警戒レベル2に引き上げられ、火口周辺概ね1キロメートルの立入りが規制されています。今後も関係機関と連携し、登山客、観光客、地域住民の皆さまの安全を第一に、突発的な状況の変化に対応できるよう火山活動状況を注視していきます。

災害から命を守るには、市民一人ひとりが自助（自分、家族）、共助（隣近所、地域）を意識し、日頃から備えることが重要です。このため、令和6年度から防災・危機管理の専門的知識と豊富な経験をもつ「危機管理監」を採用

し、緊急事態発生時の状況判断、対応策の立案や庁内防災体制の強化、地域防災力の向上を図ります。市内に居住・勤務する防災士を対象に「阿蘇市防災士連絡協議会」を組織し、危機管理監と連携しながら、皆さまの防災意識高揚、自主防災組織の防災力向上に努めます。

各家庭のお知らせ端末機は、令和5年12月から各地区で一斉に交換を開始しました。交換は令和7年度に完了予定です。

(防災情報課)

#### 主事業

- 消防団活動服などの更新 3,046万円  
消防活動の安全性向上のため、視認性が高く燃えにくい活動服に更新し、安全靴を支給します。
- お知らせ端末機の更新 4億8,500万円



### 持続的な行財政運営へ

- 総合計画 平成29年9月にまちづくりの基本指針「第2次総合計画」を策定し、各種事業に取り組んできました。令和6年度は、計画期間が満了になることから、次のステージとなる将来ビジョン「第3次総合計画」策定に取り組みます。デジタル技術などを活用した新たな「総合戦略」と人口の現状と将来の姿を示す「人口ビジョン」も併せて策定します。
- アゼリア21のこれから 「アゼリア21」は、令和5年3月に検討委員会からの答申を受け、現在、教育課など関係課で今後の在り方を協議しています。企業・団体へのアプローチを含め検討を進めます。

(企画財政課)

### マイナンバーカードで べりなくらしを

マイナンバーカードの普及やコンビニ交付サービスでの各種証明書発行手数料の減額に伴い、令和5年度のコンビニ交付サービス利用件数は、令和4年度から約2倍に増加しました。今後もカードの利便性を実感する環境づくりを進めます。

(市民課)

#### お得なコンビニ交付サービス

マイナンバーカードを利用して、住民票の写しや印鑑登録証明書などが全国のコンビニエンスストアで取得できるコンビニ交付サービス。令和5年3月から手数料が150円に引き下げられました。

- ※窓口での交付は従来通りの金額です。
- ※一部の証明書は手数料が異なります。

### 適正な課税と収納で財源を確保

#### 令

令和6年度は固定資産税「評価替え」の年にあたりです。地目変更や家屋新築、滅失などを把握し、課税漏れや誤りがないよう、公平で適正な課税に努めます。

令和6年度から個人住民税均等割と併せて森林環境税として1人年額千円を徴収することになる一方で、所得税3万円と住民税1万円、計4万円の定額減税も実施され

ます。新たな制度の丁寧な周知・啓発に努めます。

税負担の公平性を確保するため、積極的に滞納整理を行います。納付環境の整備も進め、滞納額圧縮、収納率向上に努めます。

地籍調査事業は、波野地域の令和13年度登記完了に向け、「大字波野、大字新波野」各一部の「一筆地調査」を実施します。

(税務課)

#### 循

循環型社会は、資源の有効活用と廃棄物の削減で環境への負担を低減する社会のことです。家庭で余った食品を必要とする家庭に届ける「フードドライブ」の取り組みや環境教室の開催を通して、市民の皆さまの環境保全への意識を高め、ごみの減量と循環型社会の形成に努めます。

(市民課)

### 循環型社会を築く

#### 主事業

#### ■ 物価高騰対応重点支援給付金 (定額減税調整給付分)

1億4,500万円

所得税3万円と住民税1万円の定額減税が実施されます。そのうち、納税額が4万円に満たない人に対して4万円との差額を1万円単位で給付します。

## 人権を尊重し合う社会を実現

**市** 一人ひとりが偏見や差別解消の取り組みを進め、さまざまな人権問題を正しく理解できるよう、市人権・同和教育推進協議会活動や隣保館事業を中心に、人権啓発・教育活動を進めます。

■男女共同参画社会の実現  
男女が共に支え合い、それぞれの個性と能力を十分に発揮できる地域社会の実現を目指します。パートナーシップ宣誓制度は、性の多様性への理解促進と個性を認め合う生活しやすい社会実現に向け制定した県内導入自治体との連携のもと取り組みを進めています。  
(人権啓発課)



性の多様性を象徴する  
レインボーフラッグ

### パートナーシップ宣誓制度とは

性的指向(どの性に恋愛感情を抱くか)や性自認(自身の性をどう認識しているか)は自分で選べるものではありません。少数派とされる性的指向や性自認を持つ人たちは性的マイノリティと呼ばれます。市では、性的マイノリティの人々が感じる生きづらさを少しでも解消するため、パートナーシップ宣誓制度を令和5年4月から導入しています。制度を通じて人権尊重に対する市民の皆さんの理解を深めます。

## 安心して暮らせる 福祉の充実

■子育て支援  
乙姫保育園の改修工事は令和6年度中に竣工の予定です。令和5年度に開始した「英語ふれあい事業」は、継続事業として取り組みます。

■地域福祉 高齢者、障がい者、児童、その他福祉施策の基本となる「第3期地域福祉計画」は期間が令和6年度末で満了となることから、関係機関、団体と連携・協働し、新たな計画を策定します。

■相談受付 市民の皆さまからの相談に対し、関係機関と連携し、生活困窮者対策や消費生活相談、生活保護制度などで、きめ細かな相談・支援体制を強化します。  
(福祉課)

## 生涯を通じた健康づくりをサポート

■国民健康保険 特定健診の受診率を向上させ、保健事業や医療費適正化事業に取り組みます。

■後期高齢者医療 高齢化の進展で、さらなる医療費増加が予想されることから健診や人間ドックを受診しやすい環境づくりに努め、生活習慣病発症と重症化を予防し、高齢者の健康寿命延伸と医療費抑制を図ります。

■介護保険 自助・互助・共助の仕組みを確立し、より良いサービス提供と安定した運営に努めます。  
(ほけん課)

■保健予防 生活習慣病予防に向けた食事・運動習慣の改善とこころの健康維持・向上を図ります。健康診断や継続した保健指導、健康アプリ活用などを通して、予防・健康づくりを推進し、健康寿命延伸に努めます。

■母子保健 安心して子育てできる環境を目指し、これまでに以上に関係機関と連携を深めていきます。妊婦や子育て家庭への切れ目ない支援で未来を担う子どもたちの成長を支えていきます。

■新型コロナウイルスワクチン 全額公費負担は3月に終了しましたが、重症化を予防するため、引き続き安心して接種できる円滑な接種体制を整備します。  
(健康増進課)



### 主な事業

■帯状疱疹ワクチン助成金 348万円  
帯状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスで起こる皮膚の病気で、皮膚の傷みや神経痛を引き起こします。ワクチンで発症を予防することができます。50歳以上の人が予防接種を受けた場合に費用の一部を助成します。

## 魅力ある観光地域づくり

安の影響もあり、日本を訪れる外国人観光客が増加しています。全ての旅行者の利便性を高めるため、デジタル技術の活用や多言語への対応を進めます。

令和6年12月に阿蘇くじゅう国立公園が90周年を迎えるのに合わせ、さまざまなイベントを開催します。平成28年から「国立公園満喫プロジェクト」として、ブランド力を高めるさまざまなプロジェクトに取り組みます。  
(観光課)

波野荻岳の山頂送水施設を整備するほか、すでにある観光地の魅力向上にも力を入れます。満足度の向上を図ることで、観光から得られる利益を増やします。

### 円

この機会に、その成果を世界へ発信します。アクティビティや新たな観光スポットを開発し、九州の魅力ある観光地と連携することで、より多くの富裕層を受け入れ、国際的な知名度をさらに高めます。

### 主な事業

■大野川上流地区農業用水排水施設整備工事 4,000万円  
大野川上流地区では、大蘇ダムの農業用水を活用して露地栽培から施設園芸への切り替えに取り組みます。そのための排水施設などの整備を進めます。

波野地区の施設園芸



### 全

全国的な農業人口の減少と高齢化が進む中、農業担い手の確保は重要な課題です。経営規模の拡大や生産力の向上を通じて経営基盤を強化し、農業がずっと続けられるようにします。一人・農地プランに基づき、地域の農業の目指すべき方向や農地をどう利用するかを明確にした「地域計画」を策定します。

阿蘇東部地域では、農業生産を支える基盤整備などの事業化に向け、基礎調査が完了した地区から事業計画を策定し、早期の実施を目指します。さらに、大蘇ダムの農業用水を活用した新しい農業の方法

## 農林畜産業の振興

を確立し、高価な作物を作る農業に取り組みます。

森林には、地球温暖化防止や水源涵養など多様な機能があり、適切な森林整備が重要です。令和6年度から「森林環境税」が課税されます。その財源を活用して、林業人材の育成、木材利用の促進、啓発活動などを進めます。

### 主な事業

■荻岳山頂送水施設設備工事 3,000万円  
荻岳山頂への送水施設を修理してトイレを使用できるようにします。

■多言語化・情報発信事業 (地域おこし協力隊) 335万円  
多言語を話す地域おこし協力隊員を募集し、世界に向けた情報を発信。  
荻岳山頂から▶



## 阿蘇医療センターの機能充実

■新型コロナウイルス感染症 阿蘇医療センターは、現在も新型コロナウイルス感染症入院患者を受け入れていますが、これまでの経験を生かして、阿蘇圏域唯一の第二種感染症指定医療機関としてその使命を果たしていきます。

■医療従事者の確保 研修医や実習生の受入れは、後年の当院への就職のきっかけとなることから、継続して若手医療人材の育成、教育機能充実に取り組めます。

■診療報酬の改定 令和6年6月の診療報酬改定にあわせ、入院医療分の診療報酬は、病名と症状などに応じて医療費を計算する「DPC(診療報酬包括評価制度)算定方式」へ移行します。患者さまへ説明をしながら移行作業を進め、診療報酬の適正確保に努めます。(阿蘇医療センター)

## 地域経済と

### 社会全体の活性化

■プレミアム商品券 物価の高騰が続く中で、賃金の上昇がそれに追いつかないという状況があります。この問題に対応するため、地域経済を支え、市民の皆さまの家計の負担を軽減するためのプレミアム商品券を4月1日から販売します。

■ふるさと応援寄付金 人気返礼品の確保や、店舗型ふるさと納税「ふるさとズ」の利用拡大などを進めてきました。今年度は、より多くの人に阿蘇市を応援してもらえよう、事業者間の連携と情報発信を強化するための協議会の設立を支援します。

■移住・定住 令和6年10月に移住定住支援センターを設置し、さまざまな移住支援を一体的に行う予定です。地域

#### 主事業

■移住定住支援センター費 786万円  
草原情報館に移住定住支援センターを設置。新たに採用する地域おこし協力隊員が常駐し、移住に関する相談に対応します。

**地域おこし協力隊って？**  
地域おこし協力隊は、都市部から地方に住民票を異動し、その地域の特性やニーズに応じたさまざまなプロジェクトに携わります。任期後は地域へ定住してもらうことを目指します。



▲移住定住支援センターが設置される草原情報館

## 安全で安心なインフラを整備

■中九州横断道路 「竹田阿蘇道路」、「滝室坂道路」、「大津熊本道路」の整備が進んでいます。「大津・大津西間」早期事業化と阿蘇市管内「滝室坂」北側復旧道路間の計画段階評価への早期の着手を関係機関に強く要望していきます。

■阿蘇山直轄砂防事業 管内整備10箇所中6箇所まで整備が完了し、4箇所の整備が進められています。その内、旧熊本市あそ教育キャンプ場（南宮原地区）に整備される湯浦川5砂防堰堤工事は令和5年度から工事用道路などの用地

買収に着手し、今後本格的な整備が進められる予定です。

■市が管理する河川 土砂が堆積しているところをきれいにし、河川の改修を進めます。住宅に隣接する川の護岸を整備することで災害から守る対策も進めます。

■市が管理する道路 令和6年1月には上西黒川成川線（農村公園あびか南側1・1キロメートル）の舗装が終わりました。これからも幹線道路の舗装改修を続けていきます。道路破損などの情報にはすぐに対応し安全を確保するように努めます。（建設課）

#### 主事業

■道路情報カメラ設置事業 241万円  
波野(国道57号付近・国道265号付近)、茗ヶ原、深葉の4カ所に管理用の道路情報カメラを1台ずつ設置します。道路状況をインターネットを活用して確認することで、除雪などの処置をすばやく行うことができるようになります。



◀除雪作業の様子

## 阿蘇の自然と共生する

### 住環境を実現

■市営住宅 坊中南団地の建設に着手し、居住環境の改善を図ります。

■環境事業 「ASO環境共生基金」を活用し、子どもたちの環境教育・自然体験学習を継続します。景観や多様な動植物の保全、優れた水源涵養機能といった阿蘇の草原が持つ重要性を県内外に発信していきます。（住環境課）

#### 主事業

■市営住宅坊中南団地 A棟建設事業 5億6,540万円  
黒川地区に建設する坊中南団地は1棟13戸。令和7年度中に入居開始を目指します。



坊中南団地の建設予定地▶

## 生きる力を育む 学校教育の充実

### 阿蘇小学校の屋内運動場の改修工事と波野中学校の屋内運動場の改修工事

阿蘇小学校の屋内運動場の改修工事は、令和7年1月末の完成を目指しています。古くなった波野中学校の屋内運動場の改修工事を進めます。さらに、熱中症を予防するために、市内すべての中学校の屋内運動場に空調設備を導入します。

学校教育では、平成30年から使っている情報端末（タブレット）を更新し、臨時休業や自宅待機期間でも自宅でのオンライン授業を可能とします。

子どもたちが、持続可能な社会の創り手として、これからの未来を切り拓いていくために必要な課題探究能力や情報活用能力、表現力を育むためにSDGsを通じた学びを進めます。（教育課）

#### 主事業

■波野中学校屋内運動場改修事業 3億400万円  
■中学校体育館空調設備設置事業 1億7,710万円  
築30年を超えた波野中学校体育館の長寿命化を図るため、空調設備の設置も含めた改修工事を行います。一の宮中学校、阿蘇中学校体育館への空調設備の設置工事も進め、令和6年度中にはすべての中学校の体育館に空調設備が導入されます。



阿蘇中体育館▶

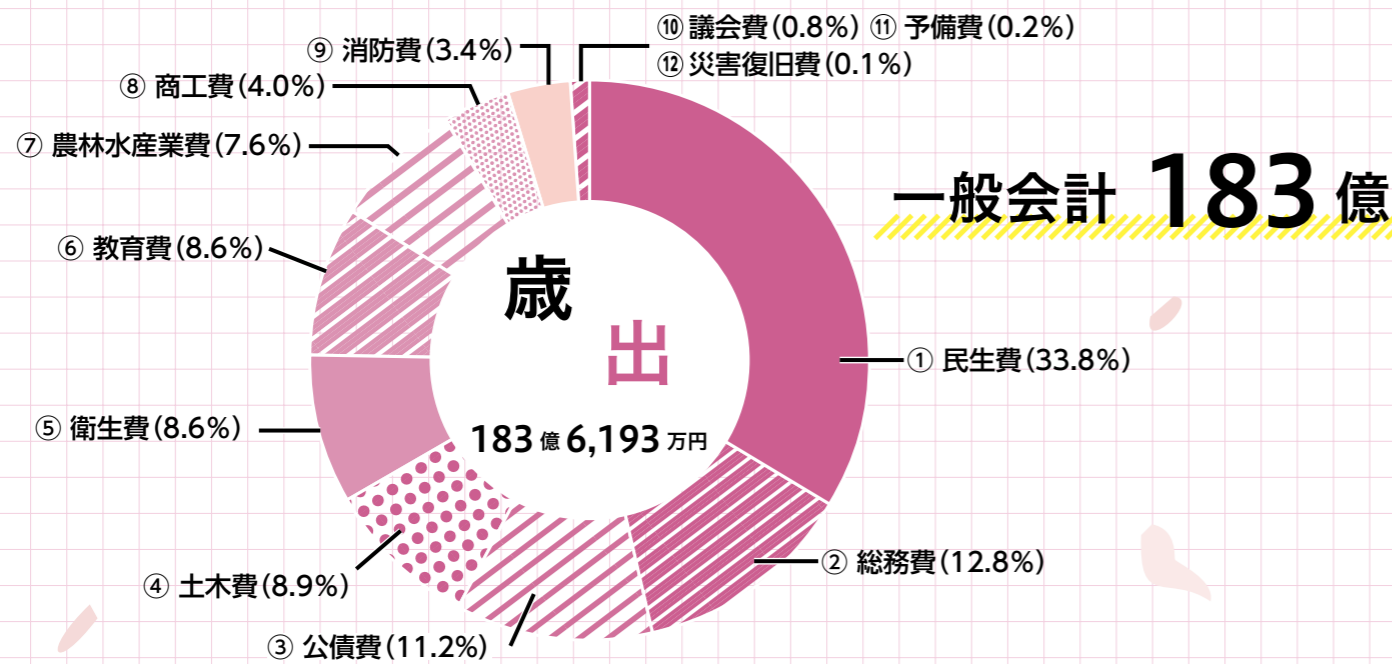


## 安心して

### 良質な水道水の安定供給

■水道事業 人口減少による料金収入の減少、老朽施設の修繕費の増加、物価上昇など事業運営への影響が懸念される中、安全な生活用水を安定的に提供するために、老朽施設の更新・整備を進め、事業の効率的な運営を目指します。

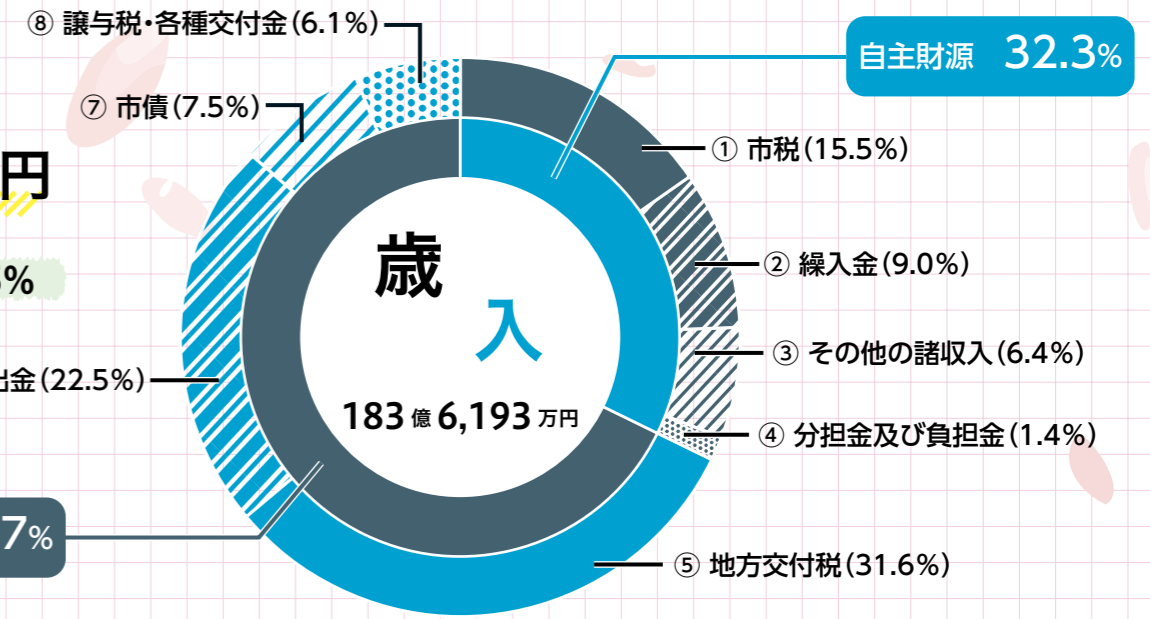
■下水道事業 令和6年度から公営企業会計の適用となり、新たな会計制度のもと、経営の状況を的確に把握し、下水道の機能を維持しつつ、経営の安定化に努めます。下水道がまだ整備されていない南黒川地区では、下水道の管渠整備を続けていきます。（上下水道課）



① 民生費	62億 510万円	33.8%	福祉の向上のために使われるお金
② 総務費	23億 5,789万円	12.8%	庁舎等の財産管理や交通、統計、選挙、徴税などに使われるお金
③ 公債費	20億 6,412万円	11.2%	市債の返済に使われるお金
④ 土木費	16億 3,756万円	8.9%	道路や橋、河川、公営住宅などの管理や整備に使われるお金
⑤ 衛生費	15億 7,713万円	8.6%	健康づくりやごみ処理などに使われるお金
⑥ 教育費	15億 7,157万円	8.6%	教育や文化・スポーツ振興のために使われるお金
⑦ 農林水産業費	13億 9,749万円	7.6%	農林畜産業の振興に使われるお金
⑧ 商工費	7億 2,543万円	4.0%	商工、観光の振興のために使われるお金
⑨ 消防費	6億 2,265万円	3.4%	消防や防災のために使われるお金
⑩ 議会費	1億 5,413万円	0.8%	議会運営のためのお金
⑪ 予備費	3,912万円	0.2%	予定外の支出へ対応するためのお金
⑫ 災害復旧費	975万円	0.1%	災害復旧のために使われるお金

**一般会計 183億 6,193万円**

対前年度比 +5.5%



① 市税	28億 4,734万円	15.5%	市民の皆さまから納めていただいた税金
② 繰入金	16億 6,110万円	9.0%	特別会計や基金などから繰り入れられるお金
③ その他の諸収入	11億 7,945万円	6.4%	使用料、手数料、財産収入など
④ 分担金及び負担金	2億 4,796万円	1.4%	市の行う事業により利益を受ける人からその受益を限度として徴収するお金
⑤ 地方交付税	58億 円	31.6%	どの地域でも一定水準の行政サービスを提供できるよう国から交付されるお金
⑥ 国・県支出金	41億 2,583万円	22.5%	特定の事業を行うために国や県から交付されるお金
⑦ 市債	13億 7,750万円	7.5%	特定の事業を行うために借り入れられるお金
⑧ 譲与税・各種交付金	11億 2,275万円	6.1%	国税や県税などとして集められたお金のうち、一定の割合を市町村に交付するもの

●各種交付金の内訳

地方譲与税	2億 6,116万円	地方特例交付金	1億 6,219万円	環境性能割交付金	1,950万円
配当割交付金	460万円	利子割交付金	40万円	交通安全対策特別交付金	280万円
法人事業税交付金	1,740万円	株式等譲渡所得割交付金	1,950万円		
ゴルフ場利用税交付金	3,110万円	地方消費税交付金	6億 410万円		

\* 表示単位未満を四捨五入しているため、内訳の単純合計と総額の数値は一致しません。

**特別会計 76億 1,334万円**

対前年度比 -8.08%

特定の収入・支出をもって一般会計と経理を別にする会計

会計別予算額	
国民健康保険事業	34億 6,925万円
介護保険事業	34億 1,298万円
後期高齢者医療事業	5億 7,870万円
阿蘇山観光事業	1億 1,600万円
財産区事業	3,642万円

**企業会計 57億 4,734万円**

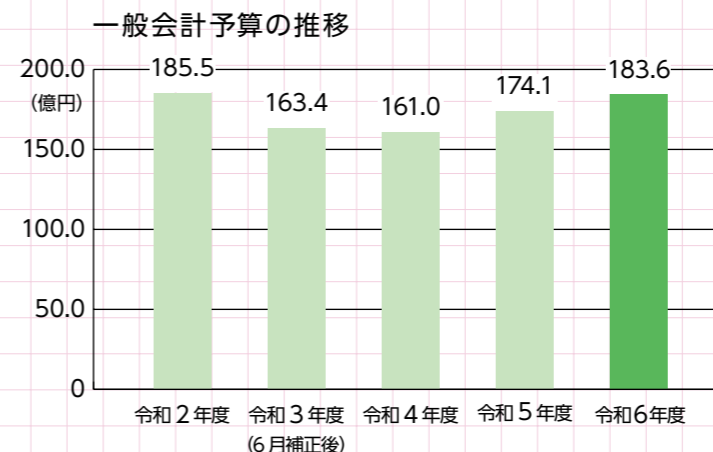
対前年度比 +37.56%

独立採算による特定の事業を経理する会計

会計別予算額	
病院事業	39億 938万円
下水道事業	9億 3,189万円
水道事業	9億 606万円

# 令和6年度予算

企画財政課 財政係 ☎ 22-3204



第2回阿蘇市議会定例会が開催され、令和6年度当初予算が可決・成立しました。

令和6年度は、老朽施設などの更新・長寿命化を計画的に進め、施設機能の強化と利便性の向上のための経費を拡充、併せて、原油価格・物価高騰などの影響も考慮し、約183億円規模の予算編成としました。前年度比9億5,647万円の増となっており、例年よりやや大きめの予算規模となっています。